

Boron-Based Drug Discovery and Development

赤間 勉 先生

(元) Research Leader, Medicinal Chemistry,
Anacor Pharmaceuticals, Inc.



日時：平成29年6月16日（金） 15:30～

場所：化学生命科学研究所 R1棟 第一会議室

ホウ素を含む化合物には、空のp軌道のルイス酸性のため、アルコールのヒドロキシ基などと相互作用することにより、 sp^2-sp^3 の2つのコンフォメーション間の平衡が存在します。この性質を利用することにより、タンパク質や核酸など様々な創薬ターゲットと相互作用させることができ、従来の炭素ベースのものとは異なる、新規な医薬品の開発につながることを期待されます。現在までに4剤のホウ素含有医薬品が米国で認可されていますが、そのうちの2剤となるtavaboroleおよびcrisaboroleの研究開発に携われたご経験を元に、含ホウ素医薬品が従来のものと比べてどう違うのか、その利点および課題について紹介していただきます。奮ってご参加ください。

問い合わせ先：中村・布施研 内線5244